

東京都立大学附属高等学校同窓会
2017(平成29)年度下期「理事・監事・評議員会議」議事録

日時 2018年2月4日(日) 14時
場所 めぐろパーシモンホール1階「YAKUMO111」
出席 18名 欠席 26名

会議に先立ち、昨年11月15日に亡くなった北原久利常務理事(会計・ホームページ担当)の冥福を祈って献杯を行った。

議案1 2017(平成29)年度上期事業報告(2017. 4. 1~2017. 9. 30)

下記各号につき理事長より報告を行い、了承された。

⑦学生歌・記念祭歌・寮歌の保存、継承に関して、担当の佐藤文行理事の監修により編曲・制作された伴奏譜の録音による合唱を行った(旧制府立高第11回記念祭歌「銀扇空に」)。

① 会報の発行(2017年6月30日発行)

印刷部数 9,000部
発送部数 国内会員8,308部 特別会員(恩師)153部
海外在住会員107部
桜修館教職員・PTA・生徒に配布160部
桜修館同窓会役員へ配布30部

② 名簿の管理(2017年6月25日現在)

会員総数 14,350名
住所判明者 8,495名 (前年8,462名、前年比+33名)
(海外在住122名、会報受け取り拒否25名を含む)
死亡 577名、住所不明 5,278名(-75名)
特別会員(恩師) 297名 (死亡61名、住所不明82名を含む)

③ 第69回記念祭の取り組み(9月9日、10日)

B棟2階201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展。
(歴史的資料・写真展示、DVD 終日放映など)

10日13時より合唱イベント「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌を歌おう」実施。

④ 第5回「八雲が丘賞」

受賞団体は「科学部」。9月11日(月)、記念祭閉祭式の会場で全校生徒を前に表彰式を行った。

詳細は次号会報で特集の予定。

⑤ 八雲が丘学友会

5月27日(土) 第29回会合

桜修館第6期生155名全員の同窓会加入を確認。

6月24日(土) 学友会主催で、吉松安弘氏の講演会を開催。

9月16日(土) 第30回会合

⑥ 会議

3月30日 拡大理事会・会報編集委員会

5月22日 2016年度会計監査

7月2日 2017年度上期「理事・監事・評議員会議」

7月8日 ホームカミングデー打ち合わせ

⑦ 学生歌、記念祭歌、寮歌の継承、保存

二期会会員・佐藤文行氏(17期)の監修により、旧制府立高校時代の歌から10曲、都立大附属高校時代の歌から5曲と、校歌の計16曲の伴奏譜を編曲・制作し、デジタル譜として八雲が丘学友会が保存。

⑧ 同窓生による講演会企画

6月24日(土)、八雲が丘学友会の主催で『伝統って何だ?』を開催。

講師＝吉松安弘氏(2期、映画監督・脚本家)。会場は桜修館多目的ホール。

10月16日(月)、三ツ谷洋子氏(16期、スポーツジャーナリスト・コンサルタント)による講演会を、桜修館前期終業式に合わせて行った。

議案2 同窓会の財政状況と2018年度の見通し

北原担当常務理事の逝去により、会計処理が滞っていることを報告。

2月1日現在の各口座(ジャパンネット銀行普通預金、ゆうちょ銀行当座預金、みずほ銀行定期預金、みずほ銀行普通預金)の残高の確認と、今期のおおよその見通しを報告。

繰越利益は11,400千円程度と想定される。

来期(2018年度)の見通しのについても、今期に準じる概略のみ報告。

今期の会費納入会員は、前期より若干増えて1100人を超えたが、同窓会の安定的な運営に必要な1500人(納入会費300万円)にはまだ足りないところから、来期も一定の赤字を見込まざるを得ない。さらに納入会員増に取り組む必要がある。

議案3 今後の活動計画(2017年度下期および2018年度)

①会報の発行については、前号でページ数不足が生じたことから4ページ増やして16ページとすることも検討する。送料増が問題ではあるが、今回は11月に予定される定期総会への出欠はがきの封入も必要であることから、やむを得ないとする。

②の名簿の管理と個人情報の扱いに関しては、石川担当常務理事から報告があり、個人情報の扱いについて同窓会として会則の細則に盛り込むなど対応を検討し、次回理事会に諮ることとなった。

⑤⑥のホームカミングデーについて、会場(パーシモンホール小ホール)の確保が問題であるところから、修館の行事の一環として桜修館と共同で目黒区との交渉にあたることを確

認した。桜修館と早急に打ち合わせる。

① 会報の発行

2018年6月30日発行予定。A4判12Pまたは16Pカラー。

印刷予定9,000部、配布対象＝会員・特別会員約8,700部、

桜修館関係160部、桜修館同窓会50部

3月中旬 編集委員会

4月30日原稿締め切り、5月編集作業、6月組版、校正、印刷製本、発送

② 名簿の管理(2018年1月現在)と個人情報の扱いについて

会員総数 会員14,354名、特別会員(恩師)296名

住所判明 会員8,344名(うち受け取り拒否39名、海外在住110名)

特別会員148名

死亡・住所不明 会員6,010名(死亡599名、住所不明5,411名)

特別会員 148名(死亡63名、住所不明85名)

(卒業後母校教師になったため名簿上重複している会員が2名います)

(会員総数が4名増加したのは、33期の名簿の不備を訂正したため)

③ 第70回記念祭への参加、出展計画

前回同様 B 棟201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」出展

資料・写真の展示、DVD の放映、「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌」合唱イベント。

都大附高時代の資料、写真の収集、展示に努める。

④ 第6回「八雲が丘賞」

桜修館に団体または個人の推薦を依頼

⑤ 第4回「八雲が丘ホームカミングデー」の実施

2018年10月の土曜または日曜のめぐろパーシモンホール小ホールを、桜修館より抽選によらず確保してもらおう。

内容については、前3回の経験をもとに検討する

⑥ 特別「八雲が丘ホームカミングデー」(10期～14期対象)の実施

昨年11月29日の初回特別ホームカミングデーは、旧制府立高～都大附属高9期を対象として行ったことから、今回は10期～14期が対象となる。10期～14期をまとめて開催するかどうかについては検討を要する。

⑦ 同窓生による講演会「ようこそ先輩(仮称)」の開催

講演会企画の第3弾を今年秋までに開催したい。PTA、桜修館同窓会との共同開催も視野に入れる。

⑧ 八雲が丘学友会の活動と桜修館同窓会との連携

学友会の定期会合はこれまで通り年4～5回の開催としたい。桜修館同窓会の参加で若年向けの新たな活動ができないか検討する。桜修館の現役自治会役員などとの交流も拡大する。

⑨ 会議予定

- 2月月4日 2017年度下期「理事・監事・評議員会議」
- 3月中旬 拡大理事会兼会報編集委員会
- 5月上旬 2017年度会計監査
- 7月上旬 2018年度上期「理事・監事・評議員会議」
- 9月初旬 記念祭準備、第70回記念祭
- 10月 第4回「八雲が丘ホームカミングデー」
特別「八雲が丘ホームカミングデー」
- 11月 同窓会定期総会

議案4 その他

同窓会執行部の体制について、役割分担の再検討と二人担当制について提起され早急に検討することとなった。

以下の6部門について若返りも図りつつ、それぞれ二人以上で担当することにする。

事務担当

会計担当

事業担当

名簿管理担当

会報編集委員会

ホームページ委員会

以上